

I 団体情報

1 基本情報

...R7評価シート（R6決算）より転記  
...R6具体的な行動計画より転記  
...新たな記載欄

団体名	(公財) 札幌市生涯学習振興財団			所管課 記入者	教) 生涯学習推進課				
基本財産	50,000千円			本市出資額	25,000千円		(出資割合	50.0%	)
設立年月日	平成11年(1999年) 4月 1 日			出資年月日	平成11年(1999年) 4月 1 日				
設立・出資目的	<p>(設立目的)</p> <p>札幌市における生涯学習の普及振興に資する事業を行うとともに市民の学習活動を総合的に支援し、もって生涯学習の推進に寄与することを目的として設立。</p> <p>(出資目的)</p> <p>札幌市の地域における生涯学習の普及振興に資する事業を行うとともに、札幌市が設置する生涯学習施設の管理運営を行い、もって本市における生涯学習の推進に寄与するため、当財団の設立にあたり札幌市が5,000 万円を基本財産として寄附（平成11 年の設立当時）したものの。</p>			沿革	平成11年	財団法人札幌市生涯学習振興財団設立			
					平成11年	札幌市青少年科学館の管理運営を受託			
					平成12年	札幌市生涯学習センターの管理運営を受託			
					平成18年	札幌市生涯学習センター及び札幌市青少年科学館の指定管理者に指定			
					平成25年	公益財団法人へ移行			
代表者	理事長（常勤） 檜田 英樹（市OB）								
主な出資者	①	札幌市	(50.0%)	②	(公財) 札幌市生涯学習振興財団	(50.0%)	③		
	④			⑤			⑥		

2 実施事業

① 生涯学習センター 施設設備等維持管理及び施設活用等運営業務	② 生涯学習センター 学習機会提供業務
③ 青少年科学館 施設設備等維持管理業務	④ 青少年科学館 科学技術知識普及啓発業務
⑤	⑥
⑦	⑧

➡「事業ごとの状況」参照

3 団体職員・構成員等

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数
役員					
常勤理事	1	0	0	0	10
常勤監事	0	0	0	0	
非常勤理事	7				
非常勤監事	2				
職員					
常勤管理職	2	0	5	0	112
常勤一般職	3	2	33	27	
非常勤職員	40				

役員の任期	
理事	2 年
監事	2 年
代表権のある役員の就任年月	
理事長	R6.7
副理事長	
職員総数の推移(人)	
R05.4.1時点	90
R06.4.1時点	116

令和7年4月1日現在(単位：人)

プロパー職員の年齢構成			
10歳代	0	40歳代	11
20歳代	2	50歳代	5
30歳代	20	60歳代	0
平均年齢		38.7	歳

プロパー職員の退職・採用状況（人）					
	退職		採用		募集
	定年	中途	新卒	中途	
R4	0	0	0	3	3
R5	1	1	0	0	0
R6	0	2	1	2	3
R7	0	4	0	0	0

補足  
・職員の定着が課題と考えている。

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区 分				R5年度決算	R6年度決算	(経常収益比)	(前年比)	
財務状況	正味財産増減計算書	正味財産増減計算書	経常増減	経常収益(a)	828,967	1,061,725	(100.0%)	(+232,758)
				経常費用(b)	882,033	1,040,459		(+158,426)
				うち管理費等(c)	16,412	15,797	(1.5%)	(▲ 615)
				うち人件費(d)	396,802	446,095	(42.0%)	(+49,293)
				当期経常増減額(e)	▲ 53,066	21,266		(+74,332)
	当期正味財産増減額(f)			▲ 53,145	19,100		(+72,245)	
	貸借対照表	資産(g)	資産(g)	418,667	428,851		(+10,184)	
			流動資産(h)	240,720	254,756		(+14,036)	
			固定資産(i)	177,947	174,095		(▲ 3,852)	
			うち基本財産(j)	50,000	50,000		(0)	
		負債(k)	負債(k)	152,067	143,151		(▲ 8,916)	
			流動負債(l)	123,102	112,417		(▲ 10,685)	
			固定負債(m)	28,965	30,734		(+1,769)	
		正味財産(n)			266,600	285,700		(+19,100)
		借入金残高(o)			0	0		(0)

6 所管局による検証（R6行動計画より）

今後の在り方  (設立・出資目的が現在も同様に続いているかにも触れること。)	(1) 団体の在り方、出資の在り方 当該団体は、生涯学習の普及振興を設立目的としており、その専門性を活かして、平成12年度から現在に至るまで、生涯学習センターと青少年科学館の管理運営を行ってきた。また、札幌市では、平成29年3月に「第3次札幌市生涯学習推進構想」を策定し、その重点施策に生涯学習センターの取組が数多く掲げられているなど、当該団体の専門性を活かしながら、各施策の推進に取り組んでいるところである。学びは市民が充実した日々を送ることを可能にするともに、時代の変化に対応し課題を解決する力を養い、また、学びをきっかけとして人と人とのつながりを強めるものであることから、当該団体には引き続き生涯学習の普及振興の中心的役割を果たすことを求めている。
	(2) 経営の安定性や自立を高める方策 団体の収入は、指定管理業務による割合が非常に高いが、新型コロナウイルスや大規模改修での休館等の影響により、生涯学習センターにおいて施設利用者数の回復に時間を要していることから、経営の安定化・自立化のため、自主事業の拡大に向けた取組を進めるよう求めている。

7 他の政令指定都市の状況

《外郭団体》	
■生涯学習（教育全般を含む）の実施を目的としている外郭団体を有する他都市	8市
〔内訳〕生涯学習施設の指定管理・関連施策の展開（6市）、生涯学習事業の受託（1市）、自主事業による生涯学習施設運営・事業展開（1市）	
《生涯学習センター(相当施設含む)》	
■生涯学習センターを市が設置している他都市	12市
〔内訳〕・直営（5市） ・指定管理（7市）・・・外郭団体（5市）、市が設立した一般財団法人（1市）、NPO（1市。ただし公民館相当施設は市直営）	
《青少年科学館》	
■科学館を設置している他都市	14市
〔内訳〕・直営（7市） ・指定管理（7市）・・・外郭団体（2市）、民間企業（5市）	

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区 分	R5年度決算	R6年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	0	13,000	(+13,000)
市委託料	718,940	748,047	(+29,107)
市業務委託料	0	0	(0)
うち随意契約	0	0	(0)
市指定管理費	718,940	748,047	(+29,107)
うち非公募	718,940	748,047	(+29,107)
(参考) 再委託額	262,443	306,105	(+43,662)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率	(36.5%)	(40.9%)	(+4.4%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	81,798	246,828	(+165,030)
うち非公募	81,798	246,828	(+165,030)

## II 事業ごとの状況

事業内容 1	生涯学習センター 施設設備等維持管理及び施設活用等運営業務	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性
		×	/	○	×
事業内容 2	生涯学習センター 学習機会提供業務	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性
		×	/	○	×
主要事業名	生涯学習センター管理運営事業	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]		生涯学習センターの管理運営を通じ、学習機会の提供やボランティア等の育成、学習ニーズを把握するための調査などを行うことで、地域における生涯学習の普及振興を促進する。	

... R7評価シート（R6決算）より転記  
... R6具体的な行動計画より転記

1.事業内容	市支出欄	金額欄
①施設・設備の維持管理業務	市指定管理費（非公募）	393,236（千円）
②貸館業務（ホール、研修室、スタジオなど）		
③学習機会提供事業		
④人材活用育成事業 ・学習支援者育成・活用事業（市民講師(ご近所先生)育成など） ・生涯学習関連施設職員研修事業（区民センター等の職員を対象に研修を実施） ・生涯学習ボランティア育成事業（講座企画に関わるボランティア団体への活動の場の提供、研修の実施）		
⑤学習活動支援事業 ・メディアプラザ運営事業（学習相談、図書・音楽等教材貸出） ・生涯学習情報収集・発信事業（情報誌の発行、HPでの学習情報の提供） ・生涯学習普及啓発事業（ちえりあフェスティバル、サークル発表会の開催）など		
⑥調査研究事業（生涯学習の普及・振興につながる新たな事業の企画立案、試行など）		
⑦自主事業（自動販売機、飲食店運営等）		

2.実施結果				
(1)事業収支（単位：千円）			(2)活動指標	R5年度実績
項目				R6年度目標
R5年度				R6年度実績
収入	項目		① さっぽろ市民カレッジ講座数	203
		494,137	②	184
	(経常収益比)	(+59.6%)	③	203
	市補助金・交付金・負担金	0	④	
	市業務委託料	0	⑤	
	市指定管理費	393,171		
	市施設利用料金収入	81,798	(3)成果指標	R5年度実績
	自主事業収入（補助金除く）	5,753	① 生涯学習センター貸室利用率（%）	74.1
費用（支出）	その他収入	13,415	② さっぽろ市民カレッジ受講者数（人）	76.0
	項目		③ メディアプラザ利用者数（人）	70.2
	R5年度		④	3,834
	R6年度		⑤	3,300
事業費	費用（支出）	529,219		3,829
	事業費	487,311		52,247
	管理費等	41,908		51,000
収支差	項目			57,447
	R5年度			
	R6年度			
収支比率	収支差	▲ 35,082		
	収支比率	93.37%		
			3.所管局による評価	
			事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない	
			貸館業務は生涯学習センターの主要事業の一つであり、目標値を下回った利用率については向上策を検討いただきたい。一方、さっぽろ市民カレッジについては、受講者数が目標値を大きく上回った。これまで受講の少なかった世代を意識した講座を開講したほか、企業等との連携講座を展開するなど様々な工夫によるものであり評価できる。	

事業内容 3	青少年科学館 施設設備等維持管理業務	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性
		×	/	○	×
事業内容 4	青少年科学館 科学技術知識普及啓発業務	採算性	採算性 (市補助等除く)	市施策関係性	民間代替性
		×	/	○	×
主要事業名	青少年科学館管理運営事業	[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性] 青少年科学館の管理運営を通じ、科学及び天文に関する展示、実習・実験、講習会などを行うことで、地域における生涯学習の普及振興を促進する。			

... R7評価シート（R6決算）より転記  
... R6具体的な行動計画より転記

1.事業内容	市支出欄	金額欄
①施設・設備の維持管理業務	市指定管理費（非公募）	354,811（千円）
②科学及び科学技術普及振興事業 ・科学教室（日曜実験室、サイエンジャー科学教室など） ・出前イベント（移動天文台、移動プラネタリウムなど）		
③展示関連事業 ・常設展示（「見て・触れて・考える」をテーマにした展示）、実演展示など ・実験・実習（学習実験室、工作室など） ・特別展など		
④天文関連事業 ・プラネタリウム（学習投影、特別投影、プラネタリウム祭りなど） ・天体観望事業（科学館観望会、札幌市天文台公開など）		
⑤共催事業・協力事業 ・夏休み天体観望会など		
⑥その他科学普及事業 ・学校支援事業（職場体験、教員研修、実験実習セットの貸出など）		
⑦ ③以外の展示事業（企画展など）	市負担金	13,000（千円）

2.実施結果				
(1)事業収支（単位：千円）			(2)活動指標	R5年度実績
項目	R5年度	R6年度	R5年度実績	R6年度目標
				R6年度実績
収入	334,824	559,170	① 事業実施回数（回）	1,407
（経常収益比）	(+40.4%)	(+52.7%)	②	2,500
市補助金・交付金・負担金	0	13,000	③	2,652
市業務委託料	0	0	④	
市指定管理費	325,769	354,811	⑤	
市施設利用料金収入	0	156,678	(3)成果指標	
自主事業収入（補助金除く）	3,339	30,282	R5年度実績	R6年度目標
その他収入	5,716	4,399		R6年度実績
項目	R5年度	R6年度	① 入場者数（観覧者数）（人）	0
費用（支出）	352,814	509,491	② 事業参加者数（人）	400,000
事業費	310,906	469,419	③	594,748
管理費等	41,908	40,072	④	62,400
項目	R5年度	R6年度	⑤	87,951
収支差	▲ 17,990	49,679	3.所管局による評価	
収支比率	94.90%	109.75%	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない	

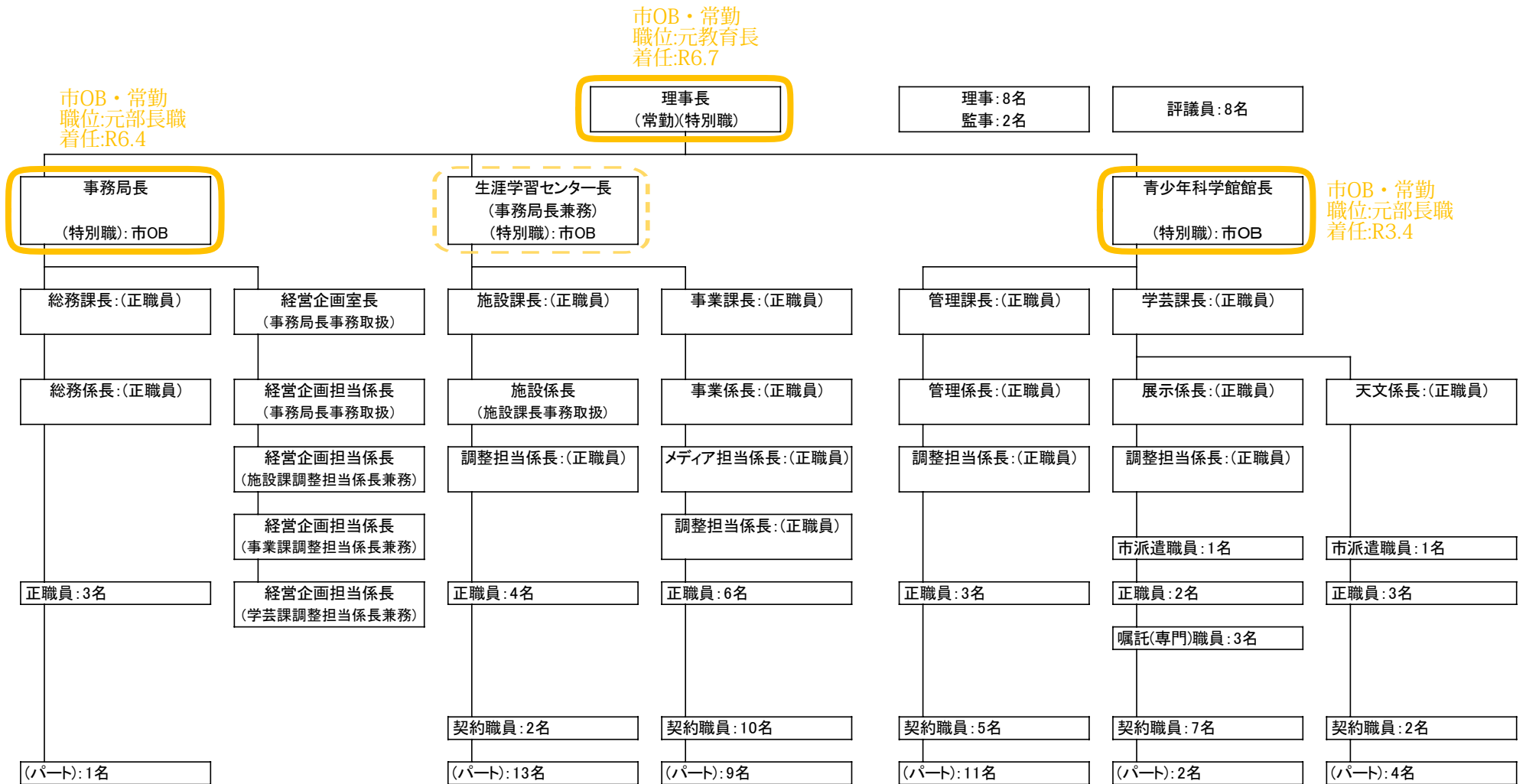
リニューアル効果により過去最多の観覧者数となり、多くの市民に科学及び科学技術に触れる機会を提供できたものと評価できる。  
 次年度以降は話題性のある企画展の実施など、観覧者の確保に向けた新たな取組に期待したい。

### III 役員・管理職情報

令和7年7月1日現在

OB・現職	役職	団体職名（現在）	市職位等（出身）	就任年月日	職務内容	派遣・再就職が必要な理由
市OB	常勤役員	専務理事	元部長職	RO.O		（R6具体的な行動計画の人的関与欄、市職員部HP公表内容等を参照の上、入力ください）
市OB	常勤役員	理事長	元教育長	R6.7	公益財団法人の代表として、法人の業務を執行する	生涯学習振興財団は、市の生涯学習の普及振興を目的に平成11年に設立され、生涯学習センター及び青少年科学館の指定管理者として施設を管理運営している。  このため、理事長には、両施設を中核とした当財団の諸事業を展開していくにあたり、職員を指揮監督する管理能力を有することはもとより、行政経験に裏打ちされた市の生涯学習施策への理解と、公共性・公益性に立脚した高い判断能力が求められる。  また、財団の運営に関しては、設置目的に照らして市および市教育委員会との緊密な連携が必要不可欠であることから、市政や市の組織に関する知識を有し、市において部門の統括責任者としての経験と実績を有する者を配置する必要がある。
現職	非常勤役員	理事	部長職	R6.7		
市OB	常勤管理職 （非常勤役員兼務）	事務局長／生涯学習センター長 （兼 非常勤理事）	元部長職	R6.4	①財団事務局運営の統括 ②札幌市生涯学習センターの運営及び事業の統括 ③札幌市との連絡・調整	当団体の事務局長（非常勤理事を兼務）は、事務方のトップとして職員を指揮監督する能力を有するとともに、契約・経理などの実務面での管理能力が求められ、当団体の規則・規程類が市に準じる部分が多いことを踏まえ、市での行政経験を有する者が適している。  また、生涯学習センターは、市民の生涯学習を総合的に推進する中核施設であり、センター長には、市の生涯学習施策についての十分な理解と、公共性・公益性に立脚した高い判断能力が求められる。  さらに、当センターにおける各事業の計画と実施に際しては、市および市教育委員会との緊密な連携が不可欠であることから、市政や市の組織に関する知識を有し、市において部門の統括責任者としての経験と実績を有する者を配置する必要がある。
市OB	常勤管理職	青少年科学館館長	元部長職	R3.4	札幌市青少年科学館の運営・事業実施の総括	青少年科学館は、科学および科学技術に関する知識の普及啓発を通して創造性豊かな青少年を育てる、という使命を有した生涯学習施設であり、館長には、職員を指揮監督する能力を有することはもとより、当科学館の使命についての十分な理解と、公共性・公益性に立脚した高い判断能力が求められる。  また、当科学館における各事業の計画と実施に際しては、市および市教育委員会との緊密な連携が必要不可欠であることから、市政や市の組織に関する知識を有し、市において部門の統括責任者としての経験と実績を有する者を配置する必要がある。

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団 組織体制図(令和7年(2025年)7月1日)



# 公益財団法人札幌市生涯学習振興財団役員名簿

2025. 11. 11

役 職	氏 名	所属団体／役職	任期
理事	いのうえ たつお 井上 達雄	札幌市教育委員会／総務部長	2025. 6. 27～ 2027. 6月
理事	かが ちとせ 加賀 千登世	コピーライター・社会教育士	2025. 6. 27～ 2027. 6月
理事	さくま あきら 佐久間 章	北海道社会教育支援ネットワーク／代表	2025. 6. 27～ 2027. 6月
理事	たかはら しゅうさく 高原 周作	札幌市PTA協議会／会長	2025. 6. 27～ 2027. 6月
理事	どひ かつお 土肥 勝夫	一般社団法人札幌市老人クラブ連合会／会長	2025. 6. 27～ 2027. 6月
理事長	ひのきだ ひでき 檜田 英樹	公益財団法人札幌市生涯学習振興財団／理事長	2025. 6. 27～ 2027. 6月
理事	もうり やすひろ 毛利 泰大	公益財団法人札幌市生涯学習振興財団／ 事務局長兼生涯学習センター長	2025. 6. 27～ 2027. 6月
理事	わたべ ひであき 渡部 英昭	北海道大学総合博物館／資料部研究員	2025. 6. 27～ 2027. 6月
監事	たなか いわお 田中 巖	田中巖税理士事務所／税理士	2025. 6. 27～ 2027. 6月
監事	とりい ふみひこ 鳥井 史彦	株式会社北海道銀行 ／法人ソリューション部地域創生室長	2025. 11. 11～ 2027. 6月

※50音順

理事任期：選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、再任を防げない。

監事任期：選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、再任を防げない。

現在数：理事8名、監事2名

定数：理事5名以上9名以内、監事2名以内